

もり
田 森
ともみ
智美さん 41

患者の視点で最善

「認知症の人が、その人らしく暮らせるお手伝いをしたい」。磐田市立総合病院の認知症看護認定看護師としての心構えをこう話す。

日本看護協会の認定看護師資格取得は二〇一八年。認知症患者は入院すると、慣れない環境や治療の苦痛などで不



・おはよう・

安や恐怖を伴い混乱しやすくなるという。時間や場所を認識しにくくなっていてる患者には、自宅にあったカレンダーや時計を病室に飾り、安心して病院生活を送ってもらおう。

どんな治療をしていて、自分がどこにいるのかを文字や絵で伝えることもある。「安心してもらつたために、笑顔でゆっくり、はっきりとしゃべるように心掛けています」

認知症ケアには即効性はないといい、二十四時間切れ目のないケアが提供できるように、多職種のスタッフたちと統一したケアを継続している。「認知症患者の視点で、最善は何かを常に考えていきたい」。袋井市葵町。

(宮沢輝明)